

## 令和8年度 日本画教室 初心者短期クラス

初めて日本画を学ぶ初心者のためのクラスです。

開催日時 令和8年4～令和9年3月 全6回 13:00～16:00

開催場所 山口蓬春記念館 別館 (神奈川県三浦郡葉山町一色 2320)

募集人数 若干名

参加費用 9,600円

講師名 吉田 愛(火曜担当) 押山 治(水曜担当)

申込締切日 参加希望日の1週間前

日程・内容 (各回予定)

全6回

- ・第1回受講日はお申込日から1ヵ月以内の日にご指定いただきますようお願い申し上げます。
- ・お申し込みの際、「備考」欄にて、全6回の受講希望日をご記入ください。当財団で教室の空き状況等を踏まえ、第1回受講日を調整させていただき、別途、メール・電話等でご連絡いたしますので、あらかじめご承知おきください。
- ・行程の都合上、第1回受講日は★以外よりお選びください。
- ・日程・内容は変更になる場合があります。

下記の日程から6つ選択				内容	用意するもの
	火曜	水曜 A	水曜 B		
4月	14日 28日	15日	22日	第1回 ○オリエンテーション (日本画を始めるにあたって、6回の進め方等の説明) ○モチーフ写生	スケッチブック (F6)、鉛筆(2B・B・HB)、水彩画用具一式、練り消しゴム、雑巾、モチーフ
5月		20日	13日		
	26日		27日	第2回 ○写生を本紙(ボード)に写す ○墨線骨描きおよび隈取り(輪郭線を写した後に、薄墨で陰影などを入れる。) ○膠と絵の具の溶き方の説明の後、上汁黄土による地塗り	同上
6月	9日	3日	10日		
	23日	17日	24日	第3回 ○岩絵の具の解説と溶き方の説明の後、バックの彩色 (バックの彩色は、時間の許す限り数回重ねて塗る。)	日本画用具一式
7月	14日	1日	8日		
	28日	15日		第4回 ○モチーフの彩色に入る (下塗りから入り、絵の具を上は何色が重ねるイメージを持つ。)	"
9月	8日	2日	9日		
	22日	16日	30日	第5回 ○モチーフの彩色続き (ある程度納得できるまで、こだわりを持って塗り重ねる。)	"
10月	6日	7日	14日		
	27日	21日	28日	第6回 ○仕上げ (細部の描き込みおよび全体感のバランスを整える。) ○日本画を1点制作してみたの感想等	"
11月	10日	4日	11日		
	17日	18日	25日		
12月	8日	2日	9日		
	22日	16日	23日		
1月	19日				
2月	9日	3日	10日		
	23日	17日	24日		
3月	9日	3日	10日		
	16日	17日	24日		

※火曜日クラスは現在満席です。

### 持ち物・注意事項

スケッチブック (F6)、鉛筆 (2B・B・HB)、水彩画用具一式、練り消しゴム、雑巾、モチーフなど。

※日本画用具につきましては、初日に説明します (参加費とは別に、画材を揃えるのに 3,000 円ほどかかります)。

### 備考

- ・第 1 回受講日はお申込日から 1 ヶ月以内の日にご指定いただきますようお願い申し上げます。
- ・初心者短期クラスを修了し、引き続き継続されたい方は、「日本画 火曜」「日本画 水曜 A」「日本画 水曜 B」のコースにそのまま途中入会できます (要別途申し込み。各クラスの定員の都合により、ご希望に沿えかねる場合がございますので、あらかじめご承知おきください)。

### 講師プロフィール

吉田 愛 先生

2005 年安宅賞受賞 (安宅奨学基金)。2007 年東京芸術大学美術学部日本画専攻卒業。2009 年東京芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻修了。2007 年～現在まで個展、グループ展多数開催。2019 年第 37 回上野の森美術館大賞展・賞候補入選。2021 年 FACE2021 損保ジャパン日本興亜美術賞展に入選。日本画制作の他、イラストや挿絵・本の装画制作、さまざまなワークショップもおこなう。現在、東京都立総合芸術高等学校美術科講師。

押山 治 先生

1961 年神奈川県生まれ。1987 年東京芸術大学日本画科専攻卒業。卒業制作《流》は台東区長賞受賞。1989 年東京芸術大学大学院日本画科専攻修了。平山郁夫氏に師事。1990 年レスポワール新人選抜展 (銀座スルガ台画廊)。1993 年院展初入選。1998 年個展 (銀座・かわべ美術)。1999 年日本美術院院友推挙。2000～06 年清風会展、2009・11・13・15・17・19・21・23・25 年個展 (銀座スルガ台画廊)。現在、日本美術院院友。